

・訪問先概要

〈織物メーカー〉カイキ織物—(株)アルル※企画・デザイン・販売ジャガード織物、レピア、主に(株)アルルからのOEM。シルク使いのジャガード=ウェディングドレス用、ポリエステルのだマスク、ブロードタイプ=オーダーカーテンのブック用

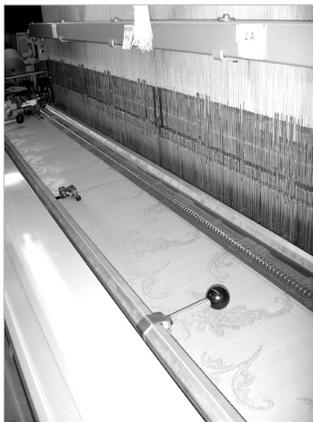
〈染、整理、仕上メーカー〉富士セイセン—旭化成系列

産地内に整理工場10社程ある。主にベンベルグの裏地、他カーテン地の仕上げ。縫製、製品が中国へシフトする中、独得の風合いが求められる裏地は中国へ輸出され製品になって戻ってくる。糸染め(カセ、ビーム、チーズ染め)、ピース染めの他各種仕上げ加工を勉強した。

〈技術センター〉山梨県富士工業技術センター

※100周年を迎えるが閉鎖に

産地の技術開発指導の役割。産地の略歴、主に先に記した甲斐絹についてのレクチャーを受ける。センターには最新のレピア、ズルーザーの高速織機その他、歴史を物語る古い織機も置いてある。特に甲斐絹の原点と言える hogushi の織機と製法、又、古いヨーロッパの絹織物コレクションの資料に興味深かった。さらに説明して戴いた宇田多技官によると、このセンターが維持できなくなり閉館になりそうだとのこと。こんなに設備も資料も揃っているのにもったいない。日本の繊維産業に対する政策はどうなっているのか?参加者特に学校の先生方の関心事となった。



〈製品メーカー〉株式会社サンモト

富士吉田産地からは一寸離れた大月に近い都留(ツル)に有る寝具、寝装品のブランドメーカー。こんなところにこんな企業があると言った印象。S17年創業。元々は甲州産地の生地を使っの夜具メーカー。経営の世代も代り今日的なカバーリングにウエイトをシフト。提携ブランド「シビラ」「エミリオ・ロバ」「竹泉」など有名ブランドを展開する他、自社ブランド作りに意欲的である。斬新なデザインを求めているとのことで、参加者からも熱心な質疑が出された。インテリアを主とする関係者には両毛産地ほど馴染がなく、今回の見学で少しは知ることができたのではないかと思う。しかし、産地は生き残りをかけて、個々に姿を変えている。産地の全容を知ったことにはならず次の機会にも又、計画されることを望みたい。

(杉山 哲三)